1 T MI J J J G J T G I J T T N J I .	ま決 算に基づく 健 実質赤字比率			実質公債費比率				
	. 法处由质土点以表	0/		区分	H29決算額	H30決算額	R元決算額	
	連結実質赤字比率	— %		公債費充当一般財源等額(繰上償還額・満期一括償還地方債の元金分は除く) ア	410,851	395,785	409,641	
(令和2年度公表) 料		10.4 %		満期一括償還地方債の1年当たりの元金償還金(年度割)相当額等 イ	0	(-	
 上	天貞公眞貞比平 10.4:			公営企業債の償還の財源に充てたと認められる繰出金ウ	132,232	141,245	141,717	
	, 将来負担比率	14.4 %		一部事務組合等の起こした地方債の償還の財源に充てたと認められる補助金又は負担金 エ	81,066	85,328		
				債務負担行為に基づく支出のうち公債費に準ずるものオ	87,896	34,673		
実質赤字比率				一時借入金の利子 カ	0	(0	
区 分 決算		類]_	災害復旧費等に係るもの キ	242,479	245,051		
寒 繰上充用額 質	1	C	4	事業費補正により算入された公債費	90,601	76,568		
^赤 支払繰延額	2	C)	密度補正により算入された元利償還金及び準元利償還金ケ	25,806	25,725	24,853	
類 事業課越額	3	0)	(地方債の元利償還額を基礎としたものに限る)				
標準財政規模	4	3,408,575			050 150	000.005	005.504	
実質赤字比率 ①+(②+③)/④		<u> </u>		(ア〜カの計)ー(キーケの計)…実質的な公債費 C	353,159	309,687		
連結実質赤字比率		資金不足比率	分	標準財政規模 コ キ ~ ケの計 サ	3,409,906 358,886	3,403,467 347,344		
			母	コーサ D	3,051,020	3,056,123		
区分	決算額		畄:	ー ,	11.57511%	10.13333		
実質収支		比率は、 資金の不足額/		〒及天貞五貞貞元十 020×100 質公債費比率(3ヵ年平均)	11.01011/0	10.4%	70 3.1201070	
一般会計等		事業の規模×				10.170		
一般会計	(1) 373,773	100		将来負担比率				
公営企業会計以外の特別会計	80,252	コノテトル 告 田		区分			決算額	
国民健康保険特別会計(事業勘定)		2 事業の規模=		一般会計等の地方債年度末現在高		а	4,456,818	
後期高齢者医療特別会計	(3)	営業収益の額ー		債務負担行為に基づく支出予定額		b	200,960	
介護保険特別会計(保険事業勘定)	(4) 37,954	受託工事収益の)	将 公営企業債の元金償還に対する一般会計等負担見込額		С	1,273,693	
	(5)	' I		来一部事務組合等の起こした地方債の元金債還に対する一般会計等負担金見込	額	d	784,049	
資金の不足額(負数)又は剰余額(正数)	546,234	※資金の不足額	分			е	592,760	
法適用企業	542,016	がないため「-」		額 設立法人の負債等に対する一般会計負担見込額		f	0	
水道事業会計	(6) 542,016			連結実質赤字額		g	0	
法非適用企業	4,218		子	組合等の連結実質赤字額相当額のうち一般会計等負担見込額		h	0	
公共下水道事業特別会計	(7) 4,218			_{財 充} 充当可能基金年度末現在高		i	2,650,666	
連結実質赤字額 (1)~(7)の計		(水道)事業の規模		開 瀬 画 等能 特定の歳入見込額 ・ 地方債現在高等に係る基準財政需要額算入見込額		j	10,829	
※連結実質赤字額は、赤字の場合は正数				TO STEED AT THE PARTY STATE OF T		k	4,205,740	
標準財政規模 連結実質赤字比率 A/B×100	B 3,408,575			将来負担額(a~hの計) - 充当可能財源等(i~kの計)…実質的な将来負担額 標準財政規模		<u>E</u> ,	441,045 3,408,575	
	<u> </u>	68,670 1,694,846				m m	244,649	
規模 標 標準税収入額等 一 普通交付税額		1,569,555	分分			n	79,135	
臨時財政対策債発行可能額	1,309,333 7			分 入準 事業費補正により算入された公債費 n			24,853	
※ 1, 決算額の単位は、全て千円。		111,111		[22,22072077	1207	21,000	
※ 2, 早期健全化基準及び財政再生基準(各比率連	記)		母	等要				
•実質赤字比率 15.00% — 20.00%	•			等額				
•連結実質赤字比率 20.00% — 30.00%				標準財政規模(I)-基準財政需要額算入公債費等(m~oの計)		F	3,059,938	
·実質公債費比率 25.0% — 35.0%			将	来負担比率 E/F×100			14.4%	
・将来負担比率 350.0% — なし			令和	ロ元年度実質公債費比率及び将来負担比率の主な項目の内訳 堰向工業団地売却損失	補償 196,607	公立藤田病院組	1合 516,554	
※ 3, 公営企業の資金不足比率に係る経営健全化基	準 20.0%			K道事業 860 下水道事業 140,857 b 伊達崎排水場発電機			L理組合 70,834	
				公立藤田病院組合 53,083 伊達崎排水場モーター等		尹達地方消防組		
※2,3 は総務省HPより抜粋				P達地方衛生処理組合12,162 水道事業 11,96	Lil'	震災援護貸付金	≧償還金 10,829	
https://www.soumu.go.jp/iken/zaisei/	<u>kenzenka/index3.h</u>	<u>tml</u>	月	F達地方消防組合 29,618 下水道事業 1,261,73	0			